



サンゴの分布する海では、アンカーをむやみに投げ入れることが大きな破壊をもたらします。ちょっとした工夫でこのような影響を小さくすることができるのです。

とてもデリケートな

沿岸の埋め立てによる直接的な破壊や陸からの赤土や汚水等の流入、地球温暖化に伴う海水温上昇などがサンゴ礁に与えるダメージばかりでなく、サンゴ礁を訪れる多くの人々の一見すると何気ない行動も、サンゴに大きな影響を与えています。

サンゴ

◆求められる工夫とモラル

サンゴ礁は、恰好な漁場として、また天然の防波堤として、多くの恵みをもたらしてくれています。近年では、沖縄にとって欠かすことのできない観光産業の資源となっています。サンゴ礁が失われることは、漁業や観光業にとって死活問題となるだけでなく、人々の生活にとっても大きな損失となるでしょう。木の幹や岩石のように頑丈そうに見える外見とは裏腹に、サンゴはとてもデリケートな生き物です。海水温の上昇による白化現象など様々な要

因によりサンゴ礁生態系全体の回復力が弱っている時だけに、人の踏みつけ、船の接岸やアンカリング、ゴミの放置など、不注意によるサンゴの破壊を避ける必要があります。生き物であるサンゴは、その生息環境をしっかりと守ってあげると旺盛に成長し、私たちにも多くの恵みをもたらし続けてくれるでしょう。人の影響をできるだけ少なくするための工夫となにより個人のモラルが求められています。



海中を漂い、海岸に打ち上げられる大小のゴミが、直接・間接にサンゴなどの生き物へ悪い影響を及ぼしています。サンゴ礁を守る一つの取り組みとして、ゴミを拾うなどの海岸をきれいにしている活動が各地で行われています。

◆サンゴ礁で過ごす5つの約束

ゴミのポイ捨てをしない

砂浜へ車を乗り入れない

むやみに魚にエサを与えない

アンカーを乱暴に投げ入れない

リンゴを採らない！
・踏まない・蹴らない

！沖縄県漁業調整規則 第33条 第2項
(参照URL: www.pref.okinawa.jp/suisan/tyouseikisokukaisei.html)
かめ類が放産した卵及び造礁さんご類（刺胞動物のうち、いしさんご目、あなさんごもどき目、やぎ目、くださんご科あおさんご目をいう。）はこれを採捕してはならない。